

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふるばキッズ			
○保護者評価実施期間	7年 9月 1日 ～ 7年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	7年 9月 1日 ～ 7年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 10月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別で行う取り組みの他に集団で行える、集団プログラムを取り入れています。	・チームで話し合い集団プログラムの立案を行うことで、固定化されないようにしています。 ・その日のプログラム担当者が決まっており、メインとなるお題を基に活動内容を考え、利用者様に合わせたプログラムが行えるようにしています。 ・夏祭り・ハロウィンパーティ・クリスマス会等季節の行事を取り入れ季節を感じて頂けるようにしています	・研修や講習に参加することでより専門的な知識を得て利用者様に最適なプログラム内容が提供できるようにしていきます。 ・保護者様からのプログラム内容についてのご希望をお聞きした際には、スタッフ間で共有し、取り入れて行きたいです。
2	1人ひとりの課題に合わせた取り組みを行っています。	・利用者様の日々の様子を共有する中で、利用者様それぞれの課題を保護者の方と一緒に見つけています。それを基に、個別の取り組みを作成し、取り組んでいます。 ・支援プリントだけではなく、手作りの支援グッズやオリジナルプリントを作成して個々に合わせた取り組みが行えるようにしています。	・定期的に保護者様へ共有し、新たな課題を見つけ状況に合わせた取り組みを行っていく。 ・利用者様本人の挑戦したい課題等もヒアリングしていきながら取り入れていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との関りや保護者様同士の関りが少ない	・集団プログラムの中にお出掛け等(買い物・公園)外部に出かけて行えるようなプログラムを取り入れ、挨拶などを交わせる機会を作っているが年に数回と少ないです。他店舗との合同イベントで児童同士の交流は出来ているが保護者様同士は機会が持てずにいた。	・外部に出かけられる機会を増やし、地域の方などに関われる回数が増えるようにしていきます。保護者様同士の交流は感染対策として控えていたが時期を見て開催できるようにしていきたい。
2	・体を動かす活動の場合は、利用者様の活動スペースが限られており狭く感じてしまうことがある。	・体を動かすことをメインとした、集団プログラムを構成していることがあるが、安全を配慮して施設内で体を動かせる場所を区切っていることから十分にスペースを確保することが難しいです。	・室内だけではなく、戸外で行えるプログラムを構成していきたいです。 ・安全に活動が出来るよう配慮しながら、子どもたちが楽しめるよう努めていきたいです。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふるばキッズ

公表日 年月日

利用児童数

20人 7年10月15日

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	8	0	0	もう少し広いと良いと思う 子どもがたくさん集まったら分らないがあるて いどきれいでつかいやすそうだった 体の大きな子が多いと狭いと思います	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	1	3	他の施設より迎え人数がしっかりあって助かる うちの子は女の子なので同性介助が出来ると良い と思いました	適切人員配置で運営をさせて頂いております
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	3	清潔、心地よく過ごせる環境だとは思いますが、 体を動かす活動とどうかな？と思います	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	3		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	4	0	1	送迎時に受ける話ではそうのように感じている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	2	ガイドラインが分かりません	一つ一つの議題や課題について何故それを行っていくのか目的や目標をしっかりと説明し支援に努めてまいります
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		日々の子どもの様子の様子を捉え保護者様と しっかり連携を図り療育を明確に提示していきます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	0	色々なプログラムが出来ていて本人も喜んでいま す	楽しみながら学べるプログラムを提供していきま す。ご希望のプログラム等がありましたら、お気軽 にスタッフへお伝えください。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	4	9	合同の運動会や夏祭りなどをやっている良いと思 います。他のふるばとの合同イベントがあるので 十分良いと思う。	感染防止対策を考え、控えております。ふるばキ ズ他店舗との合同イベントで定期的に交流を行っ ております
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0	話やすく説明してもらいました	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	6	4	6	参加できる機会がない	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	0	0	0		日々の様子を連絡帳や送迎時等に保護者様へお伝え し情報共有を密に行っていきます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3	0	1	いつもよりそっていただいて感謝している。	相迎時以外に半年に1回は確実にモニタリングを実 施し面談を行っています。必要に場合は自宅訪問や 相談員を交え面談の場を設けていきます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	8	8	運動会を兄弟児も見に行けるようになると嬉しい 保護者会等はないので、運動会など見学できたり、 機会があれば保護者同士の交流会などあれば と思います	現在は感染防止を考え控えております。行く行くは 場を設けていきたいと思っています

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	1	インスタで今日のプログラムを確認できるのが良い	送迎時等に活動様子をお伝えしたり、ご希望があればお写真を送らせて頂いております。ホームページもごございますが今後もSNSにて、毎日の活動の様子を更新していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0	ちゃんと中を隠している為プライバシーが守れている	今後とも個人情報の取り扱いには注意し運営をさせていただきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	0	避難訓練のプログラムをちゃんとしているのをインスタで確認出来ました。後本人も覚えているので安心です。	毎月1回さまざまなシチュエーションの防災・避難訓練の実施をしております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	0	1	一度鼻血が出たまま帰ってきて何でそうなったか分からないと言われて不安になった	事故等が起こった際には速やかに連絡をさせて頂き状況説明等行わせて頂きます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	1	とても満足しています 暖かく見守り頂きありがとうございます	楽しみながら「できた」の経験をサポートしていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふるばキッズ		7 年 10 月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		プログラムを行うスペースと余暇時間を過ごすスペースを分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			常に視野を広くもち、全体の様子が把握できるようにひとりひとりが心掛けていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		余暇時間に遊びたいおもちゃが分かるよう表にしている	玩具を口にしてしまう事がある為その都度消毒を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月末に自己評価シートを活用し改善に努めている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回アンケートを行い、保護者様から頂いた評価や改善点を職員で共有し改善できるよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議やミーティングで話し合いを行い改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月SNSにのせている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者様それぞれの個性を把握し苦手な事でも挑戦していただけるような支援や活動計画を立てる事を心掛けています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用者様のレベルに合わせて活動の内容を変える等の工夫が出来ている	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		色々な分野のプログラムを行えるよう毎月工夫している 季節に合ったプログラム等を取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様それぞれの個性を把握し苦手な事でも挑戦していけるような支援や活動計画を立てる事を心掛けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		出勤後必ずミーティングを行い、その日利用される利用者様や送迎、プログラムについて話し合い、全員で1日の流れを共有している。ミーティングノートに振り返りの記録を行いお休みのスタッフにも後日共有できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後、授業所内で気になった点や保護者様からのお話の情報共有をしている。またミーティングノートを使用し全体周知に努めている	退勤時間の早い職員に対して、次の出勤の際に気付いた点等を聞くだけでなく、確実に共有すべきことや緊急を要する事については、別の職員へ直接伝える事を心掛けてもらう
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録とし連絡帳を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを実施している。半年前とは違う為ととも必要な場と認識している。保護者様との連携を取ったり、職員間で利用者様の目標を相談したりしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者様と話し合った内容はスタッフ間でも共有し全員で把握を大切にしています。モニタリングや送迎時に事業所での様子をお伝えし、ご家庭での様子や困りごとを伺っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談等を全職員が把握できるように共有している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		感染防止対策として実現できていないが今後時期を見ながら改正できるようにしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		写真のupの許可のもと、インスタグラムで毎日の活動の様子を配信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的にシミュレーションをスタッフ間で行い対策をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1度避難訓練を行い、色々な災害を想定し対応できるようにしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかんの利用者様をリスト化し直ぐに確認できるようにしている。痙攣等起こった場合焦らず対応できるようマニュアルを用意し対応できるようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの利用者様をリスト化し直ぐに確認できるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの作成を行いスタッフ間で共有しながら大きな事故を未然に防ぐよう対策を考えている	ヒヤリハットの作成を行った際は確認した後サインをしてもらうなど確実に共有がされているか明確に分かるようにする
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			